



海風

UMIKAZE

Vol. **15**

Chiba-Minato Rehabilitation Hospital Report



Contents

- 2・3P 24床 増床の報告
- 4P 令和元年度入職式
- 5P 入院患者様統計データ
- 6P みなと院内旅行
- 7P カンボジア研修・アメリカ研修
- 8P デザートワゴン

2019



4/1より156床➔180床で再出航



院長
片山 薫

◆助◆

チェーホフに「たばこの害について」という短編がある。たばこの害について講演にきたはずの医者が、家庭の愚痴を延々と語って終わるという話だったか。

ベートーヴェンの後期弦楽四重奏曲は名作ぞろいだが、20世紀のものともいえる難解な音楽だ。第15番(作品132)を作曲中にベートーヴェンは腸カタルに倒れて、作曲を中断する。当時であれば死にもつながら重病だ。病が癒えたベートーヴェンは、神に感謝して美しい緩徐楽章を書く。その音楽は、病が過ぎ去った後の精神のやすらぎと、回復する身体の躍動感に満ちている。

リハビリテーション病院で患者さんに接していると、生命の回復する力に驚かされる。寝たきりだった者が歩けるようになり、チューブから栄養をとっていた者が食べられるようになる。話せなかった者は会話ができるようになる。

生命は回復する能力に満ちている。我々の病院は180床と小さいが、これからも微力ながら患者さんの回復を援助していきたい。



4月1日より、
千葉みなとりハビリテーション病院は
180床で再出発しました。
患者様により良いリハビリを提供できるように
医師・スタッフ一丸となって
これからも頑張ります!!



副院長/医療連携室長
田中 朋美

◆尽◆

千葉県から病床配分を受けまして4月より24床増床し、180床での運用を開始させて頂きました。配分された病床を心待ちにしていた患者様のお役に立てることが出来て何よりです。日頃より当院の運営にご理解ご協力頂いている皆様にご場をお借りして感謝申し上げます。

これからも回復期リハビリを必要とされる患者様が1日でも早くタイムリーに集中的なリハビリを開始出来るよう、また効果的なリハビリによって早期社会復帰が実現出来るようスタッフ一同尽力して参ります。

千葉みなとに開院して6年。リハビリするなら千葉みなとリハに...と言って頂けるよう、日々研鑽して参りますので、リハビリが必要な方がいらっしゃいましたら、また当院でお役に立てることがございましたら遠慮なくご相談頂けましたら幸いです。

◆努◆



看護部長
田中 且子

当院は、回復期リハビリテーション専門病院として千葉みなとの地に開院し、6年目を迎えました。これもひとえに、地域の皆様方のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

我が国は、2025年に備え、「疾病を抱えても可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けること」ができるしくみづくりに取り組んでいます。このような社会における当院の役割は言うまでもありません。

当院には、他のどこにも負けない優秀な医療スタッフがそろっており、その中で看護が果たす役割は、常に患者様の気持ちに寄り添い、訓練でできるようになったことを「生活の場」につなげていくことです。患者様を1日も早く住み慣れた地域へお返しできるよう職員一同今まで以上に研鑽し、配分いただいた180床が地域の皆様のお役に立てるよう努力して参ります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

4月より新しい仲間が増えました!



- ◎理学療法士 16名
- ◎作業療法士 10名
- ◎言語聴覚士 2名
- ◎看護師 10名
- ◎看護補助者 6名
- ◎社会福祉士 1名

以上の45名の新入職員と一緒によりよいリハビリを目指してがんばっていきます!!



リハビリテーション科
課長代理 吉野 雄志

入職者を迎えて

元号が平成から令和へと変わる節目の年に、生き生きとしたエネルギーに満ち溢れている皆さんをお迎えすることができ、職員一同、大変嬉しく思います。期待、緊張、不安、さまざまな思いを抱えているとは思いますが、一日も早く職場に慣れ、思う存分、力を発揮して下さい。仕事を通じて自己を磨き、人間として大きく成長することを強く望みます。若いうちはとにかく何でも吸収できます。貪欲に、柔軟に、広い視野でいろんなことを学んでいってください。また皆さんの自由な発想と若い感性で、先輩達を大いに刺激してください。

患者様、ご家族様にとってより質の高いリハビリテーション医療を提供できるよう、病院職員一丸となって頑張っていきたいと思います!

新入職員より一言



リハビリテーション科
足立 亜珠美

千葉みなとリハビリテーション病院で実習をしていたころから、「入職出来たらいいな。」と考えていたので大変うれしく思います。ずっと夢だった理学療法士として働ける嬉しさと、しっかりやっていけるのかという不安な気持ちを抱えての入職式を迎えました。今は少しずつ職場の環境にも慣れてきて、セラピストとしての勉強や業務内容を覚える事など、大変な事が沢山ありますが、これからも努力を惜しむことなく、自分の目標とするセラピスト像を目指して頑張っていきます。



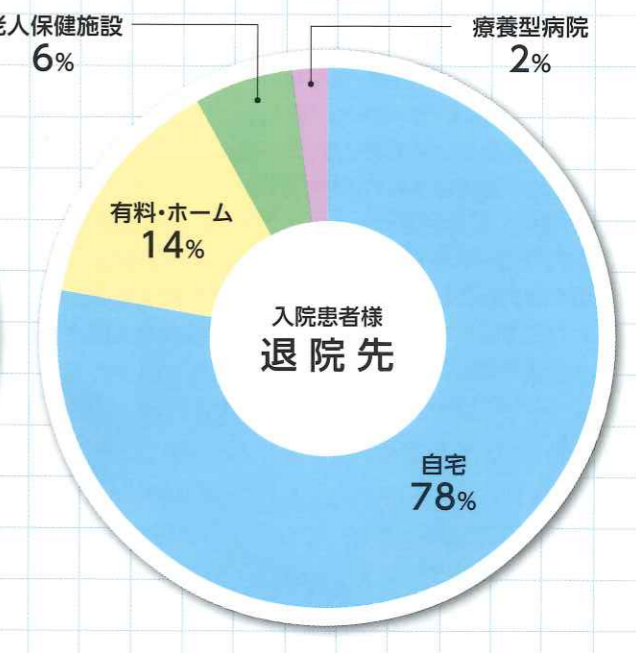
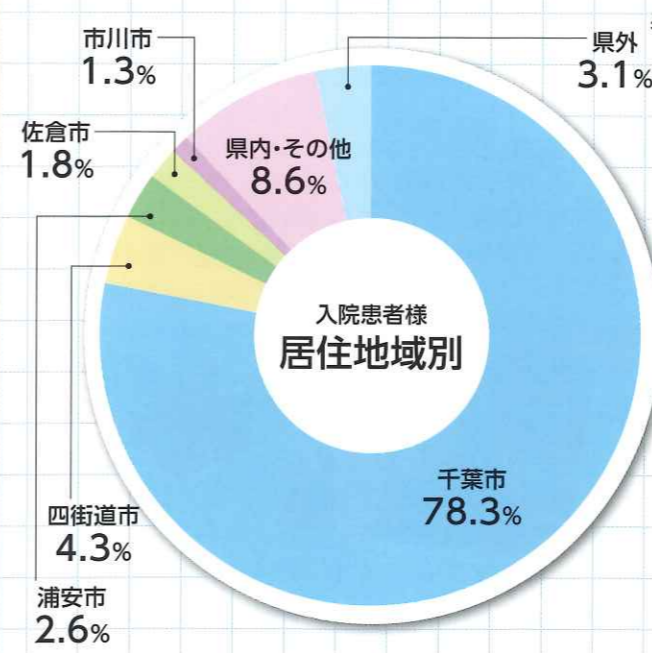
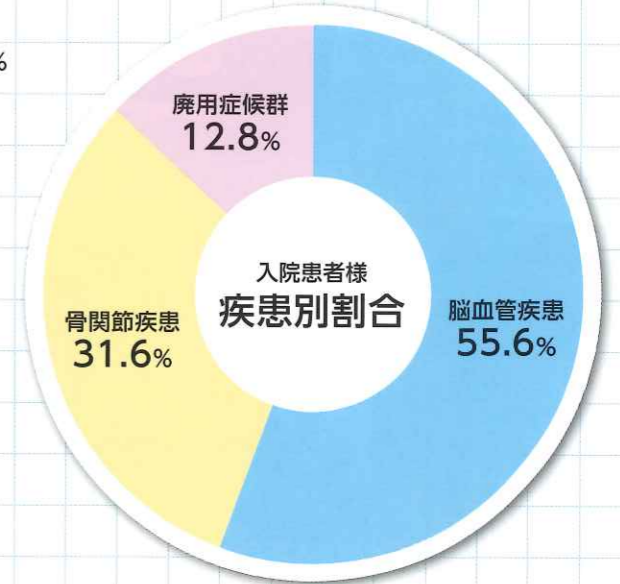
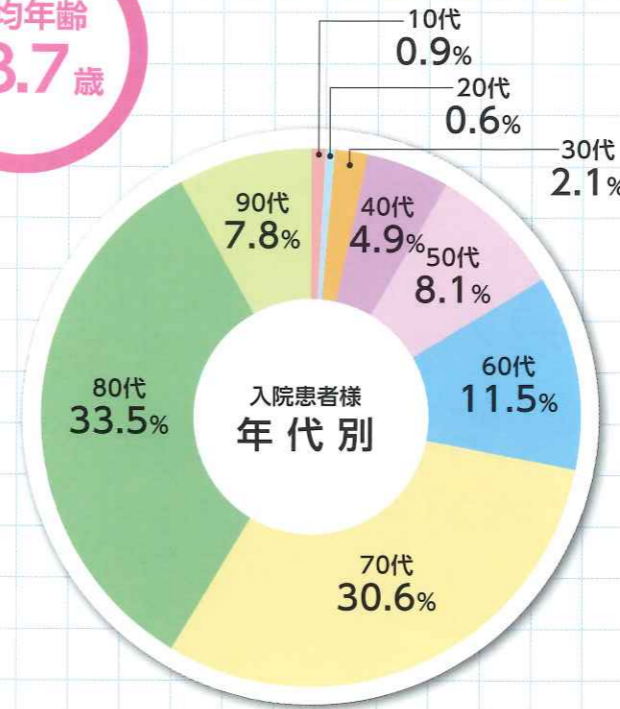
看護部
近藤 映理

この4月より千葉みなとリハビリテーション病院に入職することができ、嬉しく思います。他職種の方々と協力しながら患者様の自立を支援し、自宅・社会復帰へ向けて頑張りたいと思います。共に入職した同期の仲間と協力し、頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

患者様統計データ

平成30年4月～平成31年3月 患者数668名(再入院除く)

平均年齢
73.7歳



患者様1人あたりリハビリ提供数	平均入院日数	新規入院患者様の重症度割合	重症患者様改善率
8.60 単位	78日	45.6%	72.6%
日常生活自立度 (FIM)	入院時平均 57.8	退院時平均 84.1	利得平均(回復度) 26.3

※1単位=20分

在宅復帰率
92.0%
※急性期への転院除く

院内旅行

スペイン旅行記

院内旅行で長年私が憧れていた街
スペインの“バルセロナ”に行ってきました。
現地ではガウディが手掛けた建築物が多くあり、
中でもサクラダ・ファミリア聖堂は歴史を物語る
圧倒的存在感と聖堂内のステンドグラスの美しさ
に魅了され、完成したらまた行きたいと思います。
また、本場のパエリアはとても濃厚でやみつきにな
りました。サン・ジョセップ市場では新鮮なフルーツ
や魚介類、生ハムなどをその場で食べることが出来
てとても幸せな時間を過ごすことができました。

リハビリテーション科 小野 咲季



ハワイ、行ってみた!

人生初ハワイへ行ってまいり
ました。初日は現地時間正午に
到着し、「午後3時にはチェックインして下さい」という
指示を受けたにも関わらず、男二人で昼も食わずにア
ラモアナまで歩いていき、焼ける日差しとビキニが眩
しいワイキキビーチには目もくれず、名も知らない海
でマリンスポーツを楽しんできました。ご飯は有名料
理店ではなく、コンドミニウムをフル活用し、自分た
ちで料理を作ったのは楽しい思い出です。その他にも
ダイヤモンドヘッドに行ったり、アラモアナで買い
物をしたり、とても楽しい旅行になりました。

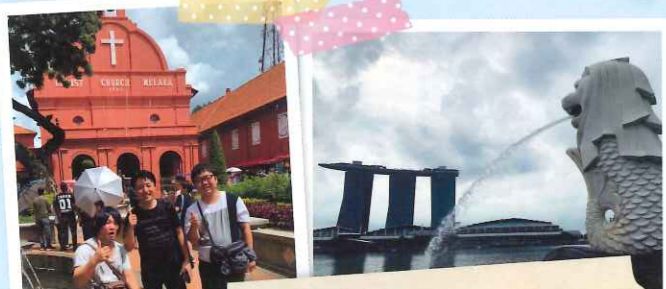
リハビリテーション科 佐藤 遼



シンガポール旅行譚

院内旅行でシンガポール、マレーシアに
行ってきました。シンガポールでは、マリーナベイ・サンズ
やガーデンズ・バイ・ザ・ベイなど近代的な建築物、マレー
シアでは世界遺産でもあるマラッカを始め数百年前から
ある歴史的な建築物を見てまわりました。いずれも様々
な文化が融合した雰囲気がとても心に残りました。雨季
の時期で、スコールが起こることもありましたが、奇跡
的に全く濡れることがなく、充実した時間を過ごすこ
とができました。皆様も機会がありましたら、是非
足を運んでみてください。

リハビリテーション科 鈴木 秀一



ソウル旅行に行ってきました。

韓国ソウルへ行きました。冬のソウルは寒いと
のことでしたが、日中でも氷点下の気温でした。初日は前日の雪が
残っていましたが、2日目からはよく晴れ、世界遺産の観光やグルメを
満喫することができました。韓国の食事では、日本のように箸を使用
しますが、銀の重たい箸とスプーンが出てきます。また、キムチ食べ放
題のお店やおかずがおかわり自由になっているなど、日本とは違う
文化に触れることが出来ました。キムチはとても辛かったです。日本
からは、飛行機で2時間ほどしかかからないため、機会があればまた
行きたいなと思います。

リハビリテーション科 川名 菜摘



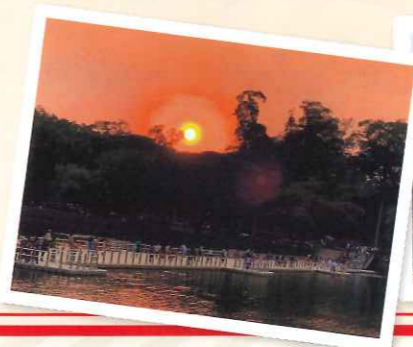
カンボジア研修

この度カマチグループカンボジア研修に参加させて
いただきました。今年アンコール小児病院開院20周
年であり、蒲池会長と一緒に記念式典に参加させて
いただくことができました。小児病院は24時間体制の
救急病院であり、また、医療従事者の教育病院でもあ
ります。1日に約400人~600人の患者が訪れ、子供た
ちの多くは予防や治療が可能な病気を患い、先進国で
は根絶している病気から命を失うことが稀ではありません。
日本に比べ感染対策がしっかりとできていると
は言えない環境ですが、院内にはきちんと手指衛生剤
が設置されていました。初診料は1000リエル(約30
円)、再診500リエル(約15円)、支払うことができ

のは約半数とのことでした。カンボジアの観光地では
500mlペットボトルの水が2本1ドル(当時約115円)
で販売されていたので、水より安い診察料を支払うこ
とが困難な方が多い国であることが印象的でした。

アンコール遺跡への観光では30度以上の気温の
中、かなりの距離を歩きながらの観光でしたが、研修に
参加しなかったら行くことがなかったであろうカンボジ
アの文化や環境に触れ、世界遺産の偉大さを実感する
ことができました。みなさんも是非一度カンボジア研
修に参加してみてください。

副看護部長 伊藤あゆみ



ROUTE 66

アメリカ研修

「絶景体験! アメリカ大自然グランドサークル6日
間」に参加させて頂きました。

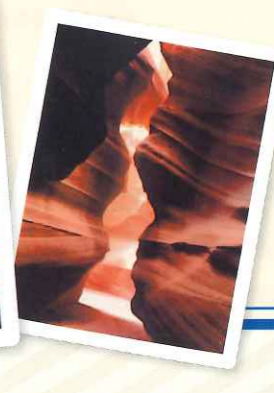
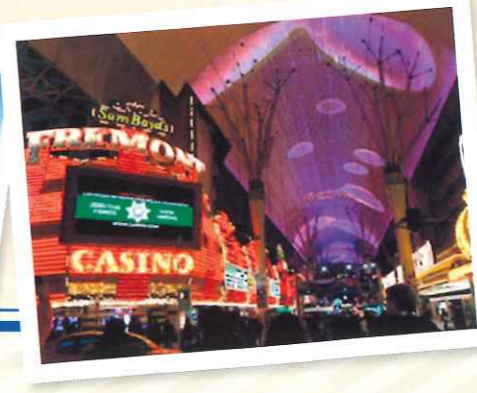
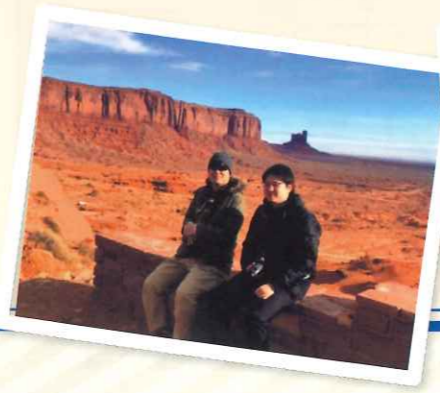
当院からは4名のスタッフが参加し、ラスベガス、ア
ンテロープキャニオン、モニュメントバレー、グランド
キャニオン、セドナ、ルート66ゆかりの街セリグマンを
旅しました。

ラスベガスは行きと帰りの夜間の滞在となり、ネオン
煌びやかなカジノの街らしさを体験できました。遊園地
風やエジプト風など様々な特徴を持ったホテルが立ち
並び、外では噴水やライブ、大道芸が繰り広げられ、カ
ジノだけではなく一大エンターテインメントを感じるこ

とができます。ラスベガスとは一変、グランドキャニオン
は見渡す限り雄大な峡谷が広がり、その深さは1600
mを超え、赤土の地層は5億4200万年前のカンブリ
ア紀のものまで見ることができます。山脈が隆起して
できた大地が雨水で削られたアンテロープキャニオン
は異世界に迷い込んだかのような不思議な美しい光景
で、強い印象が残りました。

アメリカ国家の成り立ち、日本との医療制度の違い
や問題等も学ぶことができ、実りある研修となりました。
ぜひ皆さんも参加してみてください。

副看護師長 吉井 京子



デザートワゴン

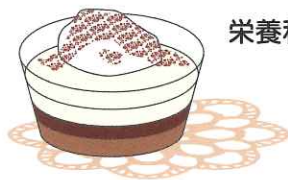
3月22日（金）にデザートワゴンイベントを開催いたしました。

患者様・御家族様に手作りのデザート3種類の中から1つ選んでいただき提供させていただきました。

初めての試みでしたが多くの方に御参加いただき、盛況のうちに終了することが出来ました。

ご好評の声も多く頂けましたので、ぜひまた開催したいと思います。

今後とも皆様のご意見を頂きながら良いイベントにしていきたいと思ひます。



栄養科 黒田 あゆ美

ホームページのご案内

病院の詳細な内容は、ホームページでご覧いただけます。ぜひご参照くださいませ。グループ病院ホームページにもリンクできます。

千葉みなとリハビリテーション病院

検索

<http://minato-reha.com/>



千葉みなとリハビリテーション病院 広報誌

海 UMIKAZE 風 Vol. 15

令和元年6月発行

企画
発行所

千葉みなとリハビリテーション病院
広報委員会

千葉県千葉市中央区中央港1丁目17番18号
TEL：043-245-1555 / FAX：043-245-1558



駐車場に限りがございますので公共交通機関のご利用をお願いします。

電車 千葉みなと駅(JR京葉線・千葉都市モノレール)より徒歩8分

バス 千葉駅西口・千葉ポートタワー行26番のりば「県立美術館入口下車」